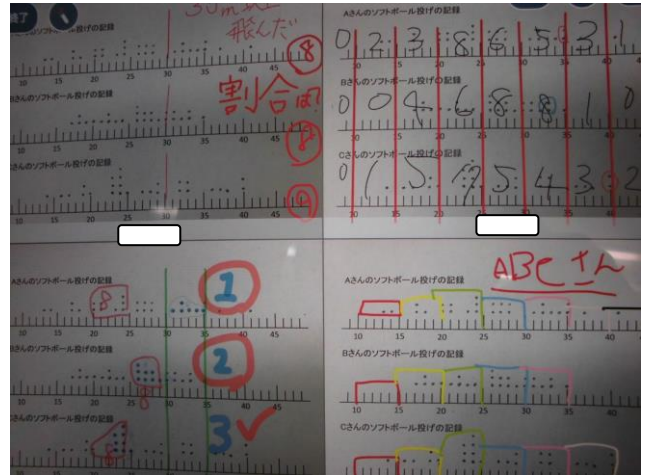
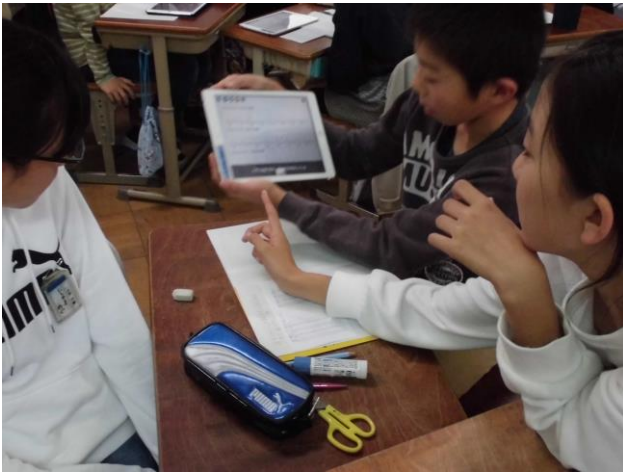


6学年 算数科「資料の調べ方」 タブレット（一人に一台）



単元のめあて 資料の整理の仕方に関心を持ち、表や柱状グラフに表すことの良さに気づき、表したのから読み取れることの特徴を考え表現できるようになる。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ①ソフトボール投げの記録をもとに、代表選手を選ぶという目的を意識してどのように資料から読み取るかを伝えあう。
- ②資料をドットプロットに整理し、そこから読み取ったことを伝えあう。
- ③自分なりに度数分布表に整理し、友達の整理の仕方と比べ、区切る幅によって読み取れることが変わること気づく。
- ④自分なりの方法で柱状グラフに整理し、区切る幅によって読み取れることが変わること気づく。
- ⑤工夫したグラフの読み方を知る。
- ⑥学習の振り返りをする。

☆タブレット活用☆

- ・ドットプロットに書き込みながら、読み取れることを考える。
- ・表やグラフをノートにかいたものを撮影し、見てほしい部分や説明を書きこむ。
- ・でき上がった表やグラフは教員へ提出する。→みんなで共有、比べる。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・加筆修正が容易なので、ドットプロットに書き込みをしながら考えることができる。
- ・全員の表や柱状グラフを同時に表示することができるので、比較することが簡単にできる。
- ・提出されたものを確認することで評価ができる。